

2021年11月30日

リコーリース株式会社

<コード番号:8566 東証第1部>

三井住友信託銀行とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について



リコーリース株式会社(以下、当社)は、三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也 以下、三井住友信託銀行)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(以下、LMA(※1))などが定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を本日締結しましたので、お知らせいたします。

サステナビリティ・リンク・ローンは、当社のサステナビリティ中期経営計画と整合した「キー・パフォーマンス・インディケータ(以下、KPI)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、SPTs)」を設定し、借入条件とSPTsに対する当社のパフォーマンスを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進することを目指すものです。

当社は、2020 年度より開始した中期経営計画において、中長期ビジョンとして掲げる『循環創造企業へ』の実現に向け、個を中心に据えた経営のもと、誠実な事業活動を通じて社会との共通価値を創造し、サステナブルな社会を目指すための取り組みを推進しています。

また、「クリーンな地球環境をつくる」ことをマテリアリティの一つとし、再生可能エネルギーの普及など事業を通じた地球環境への貢献とともに、事業活動による CO₂排出削減に向けて、2030 年までに CO₂排出量 63%削減(2015 年度比)、2050 年にはゼロとする中長期目標を掲げています。

当社は、本件を通じ、以下の KPI と SPTs を設定し、持続可能な社会の実現に向けた活動に取り組んでまいります。

KPI	SPTs	本件が貢献する SDGs
CO ₂ 排出量(総量ベース、スコープ1、2)	CO ₂ 排出量(総量ベース、スコープ 1、2)を、2022 年度に 773.8 t- CO ₂ 、2023 年度に 728.4 t- CO ₂ 、2024 年度に 683.0 t- CO ₂ 以下とすること	 7 再生可能エネルギーをみんなに そしてクリーンに
CDP(※2)気候変動スコア	CDP 気候変動スコアにおいてリーダーシップレベル(A、A-)を維持すること	 13 気候変動に 具体的な対策を

なお、当社のマテリアリティや価値創造に向けた取り組みは、『リコーリース統合報告書 2021』をご参照ください。(<https://www.r-lease.co.jp/csr/pdf/integrate2021.pdf>)

また、本件は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性、設定した KPI と SPTs の合理性について第三者意見(※3)を取得しています。

当社は、今後も、SDGs の目標達成のための取り組みをより一層強化し、中長期ビジョン『循環創造企業へ』の実現に向けて、企業価値の向上に努めてまいります。

以 上

※1 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟。

※2 世界の主要企業や都市を対象に「気候変動」「水」「森林」に関する質問状を送付し、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求め、その回答をもとに評価・公表している NGO。評価は、A、A- (リーダーシップレベル)、B、B- (マネジメントレベル)、C、C- (認識レベル)、D、D- (情報開示レベル)の8段階で付与される。

※3 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。<https://www.jcr.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL:03-6204-0608(直通) Email:ir@rle.ricoh.co.jp